

町が取り組む地方創生とは

国の地方創生プランを受け、地方人口ビジョン・地方版総合戦略の策定が求められます。

昨年8月に飯南町人口対策本部を立ち上げ、課題の洗い出しや情報収集などを行い、人口対策に向けた施策の検討などを行ってきました。

また、今後は各種団体の代表者から人口対策について意見を聞き、さらに各年代層の代表者を加えた組織で総合戦略の策定を行うこととしています。

就農就労環境を整える

町内の地域環境をみると、最も必然性が高いのは「農業」です。

Iターン者の多くが就農希望者であり、彼らの農業での成功事例はUターン現象を生む可能性を含むだけでなく、農業に従事している方々にとっても、新しい農業プログラムが成功への証となるなら、有益なものとなります。

平成27年度飯南町当初予算には、リースハウス団地整備事業があります。これは、就農者は受益者負担として総工費の3分の1を14年間リース料として支払いますが、借入金のような精神的負担を伴わず、全額経

費算入できるというメリットがあります。新規就農、事業形態の変更には大きな投資が必要ですが、これを軽減し事業に取り組めるメリットは魅力的です。

子育てに不安を感じることなく、平均的サラリーマン並みの年間収入を得るためには、施設営農の場合で作付面積は約30a以上必要ですが、農業収入が激減している今、こうした施設園芸などは期待が持てる分野だと思っています。

事業を集積し、産地として確立することが急務であり、新規就農者だけでなく、農業法人などの既存組織の参入も考えるべきだと思っています。

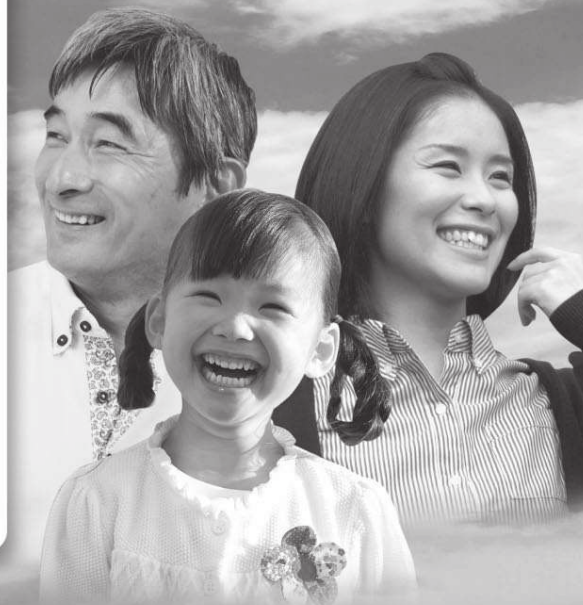
議会はこう取り組みます

定住促進の大きな壁となるのが「しごと(就労)」です。仕事が無いので子供を帰郷させることができないとか、Iターン者も仕事がないので転出したという残念な声を聞くたびにため息が出ます。

地方創生事業を糧にし、新たなしごと作りに挑戦しなければなりません。

創地 生方

プランを 急げ！！



国の進める地方創生とは

東京一極集中に対し、地方の人口減少を是正するため、各地域で住みよい環境を確保し、活力ある日本社会を維持する目的で、「まち・ひと・しごと」創生の施策を実施するものです。

「まち・ひと・しごと」の概要や基本理念は、「まち」は、地域の実情に応じた暮らしやすい環境を整備すること。「ひと」は、地域を担う多様な人材を確保し、結婚・出産・育児に対して希望を持てる環境整備を図ること。「しごと」は、地域の特性を生かした、生活できる仕事環境を創設するなど、これを国・地方公共団体・事業者が連携して実現を図るとしています。以下に政策5原則と4つの基本目標を転載します。

求められる政策5原則

- ①自立性:各施策において、一過性の対症療法的なものにならないこと。
- ②将来性:夢を持って前向きな取り組みを支援すること。
- ③地域性:各地域の実態に合った施策を支援すること。
- ④限られた財源の中で、「ひと」の移転、「しごと」の創出、「まち」づくりを直接的に支援する施策を集中して実施すること。

- ⑤結果重視:効果検証を伴わない「ばらまき型」の施策は採用しない。計画、実施、評価、改善のサイクルに基づき、目指す成果が明確になっていること。

政策の4つの基本目標

- ①地方における安定した雇用を創出する。
- ②地方への新しい人の流れをつくる。
- ③若い世代の結婚、出産、子育て希望をかなえる。
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。



滞在人口を増やし、経済環境を整える

JTBの調査によると、都市住民が抱く地方創生のイメージは、地域の観光事業を盛り上げること、農林水産業を振興することでした。JTBは、地域が潤うためには、観光客を広く受け入れる仕組みが必要と見えています。

本町でも観光振興に取り組んでいきます。まず、観光協会を立ち上げ、個々の力を結集します。また、それぞれの点をつなぎ合わせ、町全体に網を掛けるような、丸ごと観光の町を目指すことが重要です。著名な歴史的建造物などを持たない町であることから、町民と旅行者の交流こそが、一番大きな資源と捉え、歴史や様々な文化の語り部を育てていかなければなりません。

まずは、集会所民泊など集落単位で工夫を競い合える、取り組みやすい仕組みづくりなどどうでしょうか。

家庭を築く環境を整える

そもそも日本の発展は、出産・子育てに適した環境を持つ田舎が、

たくさんの子どもたちを育て、都市に労働力を提供することで成し遂げられてきました。田舎こそ発展の原動力だったのです。今も田舎では心豊かで素直な子どもたちが育っています。かつての日本に比べれば子ども数の絶対数が激減しています。

この国の豊かさをこのまま続けていくためには、田舎の環境でたくさんの子どもが生まれ、育てられなければなりません。

田舎で結婚しやすく、子育てしやすい環境を整えることは、そのまま日本の繁栄につながっていくこととなります。

